

平成16年度

大館市功労者

長年の功績に 深く敬意を表します

大館市功労者表彰は、社会福祉の増進、教育・文化の発展、産業の振興、保健衛生・納税貯蓄の向上など、市政進展に大きな功績があった個人や団体に対して行われます。毎年4月1日市の記念日に表彰式が行われ、今年度は次のかたに決まりました。

兜 森 為 雄 氏 72歳

(餌 釣)

篤農家で、ハウス栽培のリーダー的存在。昭和56年から平成8年まで農業委員として地域農業の生産力発展、経営合理化、農地の有効利用などに尽力、農家の地位向上に貢献されました。昭和62年から平成5年までは農業委員会会長として会を統括、円滑な運営に努力されました。一方、地域においては、自治会長、行政協力員、福祉員などを歴任、住民福祉向上のために奔走され、そのボランティア精神が限らない信望を集めています。



兜森 為雄 氏



佐藤 信雄 氏



吹谷 柳太郎 氏

佐 藤 信 雄 氏 83歳

(中 道)

昭和43年の御成町の大火を契機に、永年に渡り地域の美化活動を展開されました。また、自らの活動を地域に広めるため、老人クラブによる公園の整備を定着させました。清掃や花壇整備のほか、樹木の手入れ、廃棄物の分別処理、除雪など、親身行ない活動により、中道児童公園は市内で最も使いやすく、美しい公園と評価され、利用者も群を抜いて多くなっています。30年以上にわたる地道な活動は、比類なく、かつ尊いものです。

吹 谷 柳 太 郎 氏 74歳

(旭ヶ丘)

昭和62年から平成15年までの4期16年、大館市議会議員を務められました。温厚篤実で誠実な人柄から、与野党を問わず信望を持たれ、1期目から特別委員長に起用されました。2期目には常任委員長、3期目の平成9年から平成11年までは大館市議会議長に就任されています。その後も議会運営委員長などを歴任され、実直で素朴な語り口と卓抜した識見により、たくいまれな統率力を発揮されました。大館能代空港・秋田桂城短期大学などの5大プロジェクト推進を始め、市政進展に著しく貢献されました。



暮らしの向上に努めます

16年度予算

市長リポート

No 257

新年度の予算編成作業は、私が市長になってから最も厳しいものであり、思い出に残るものでした。

昨年末、国の地方交付税と臨時財政対策債と合わせて、8億円もの歳入の減額が内示されました。予想を大きく上回る減額でしたので、非常に大変でした。新年度予算は、最終的には、昨年度を2%上回る予算規模となっています。その中には、減税補てん債の借り換えを含んでいますので、実質はマイナス予算となります。やむを得ず小柄沢墓園拡張のための基金から借り入れしていますが、幸い市の貯金である財政調整基金には、手をつけずに予算編成ができました。

苦しい中でしたが、皆さんの暮らしに直結する民生費は、今年度は8・8%もの増額を図っています。本当に生活に困っているかたに、きちんと手を差し伸べることができるようになる一方、東バイパスの橋りょう工事費などを見込み、将来への生活基盤、産業基盤整備のための予算も確保しました。ぎりぎりのところで、精一杯の予算編成をしたつもりです。

ほかに、二井田真中地区には、コミュニティバスを走らせますし、十二所北地区の農業集落排水事業など、皆さんの暮らしが一層便利になるものから、17年春の開校を目指す中高一貫教育校周辺道路の整備や、自由通路の整備事業費、秋田団体の会場となる高館公園・樹海公園の整備、合併を控えている田代町との電算統合事業など、大館の将来につながるものも盛り込んでいます。

これからも、行財政改革を進めて経費を節減するとともに、市民の皆さんの暮らしを向上させるため、なお一層頑張ります。

小 畑 元